

総務常任委員会  
予算常任委員会総務分科会

(平成27年2月27日)

〔予算常任委員会総務分科会〕

○ 森 康哲委員長

休憩前に引き続き、総務分科会を再開いたします。

財政経営部、会計管理室所管の審査に入りたいと思います。

議案第91号 平成27年度四日市市一般会計予算

第1条 歳入歳出予算

歳入全般

第3条 地方債

第4条 一時借入金

○ 森 康哲委員長

それでは、議案第91号平成27年度四日市市一般会計予算について、第1条歳入歳出予算、歳入全般及び第3条地方債並びに第4条一時借入金について、追加資料の説明を求めます。

○ 大谷市民税課長

山本委員から資料請求をいただきました平成27年度歳入予算における個人市民税の見積もりについてということで、資料があちこちして申しわけございません。「総務常任委員会関係資料」という資料で、赤の1番とタグのついた資料の3ページをごらんいただければと思います。

平成27年度歳入における個人市民税についてということですが、個人市民税は税収の8割以上が給与所得者の収入ということでございまして、その他の収入も含めて税収を見込んでいるところでございます。平成27年度当初予算につきましては、対前年度比0.6%増ということで、182億円強の歳入を見込んでいるところでございます。この算出方法なんですが、個人住民税、8割以上を占めるのですが、給与所得者数と納税義務者1人当たりの給与総額について、統計資料を参考に見込んでおるところでございます。統計資料と申しますのは、黒で太く書いてございまして、三重県毎月勤労統計調査というのがございまして、毎月県内の給与所得者数、あるいは給与収入額というのが、三重県のほうから公表されております。具体的に申しますと、給与所得者数については、常用労働者数が

0.6%減少ということで、若干の減、他方、納税義務者一人当たりの給与収入額については、1.4%増加しておるといふところが見てとれますので、若干増といふことで、一番下の段に記載しておりますとおり、給与所得者数については12万711人、給与収入額については年間で460万7300円という形で積算をさせていただいておりますといふところでございます。

説明は以上でございます。

#### ○ 荒木財政経営課長

私からは、同じく4ページをお願いいたします。石油貯蔵施設の交付金でございますが、これが平成26年度と比較して3000万円余を減額するといふことで、この算定式をといふことで、資料をご用意させていただきました。上の丸でございますが、これは平成26年度配分額といふことで、これまで合併の特例措置で10年間受けていたものといふ、丸で整理したものでございます。そして下の丸でございますが、こちらが平成27年度配分額といふことで、特例措置がなくなったものと、それぞれ記載させていただいております。

まず上の丸のところはこれまでのものでございますが、旧四日市市、旧楠町、それぞれで算定し合算したものを限度額として算定するといふことで、その算定額、その限度額に配分割合を乗じて1億4636万6000円と算定していたといふことでございますが、下の丸へ行っていただきますと、平成27年度からは新四日市市のみ1本で算定するいふこととなりますことから、限度額自体が下がるいふことで、1億1200万円余になるいふものでございます。

具体的に申し上げますと、旧楠町の分の係数0.495が一本化されることにより、0.0385といふことで、かなり低くなります。さらに旧楠町で定額分として受けていたものが、これがなくなるいふことでございまして、収入が3400万円余減る、減収となる見込みを立ててございます。なお貯蔵量でございますが、若干平成26年度に対しまして平成27年度が合計いたしますと減ってございますが、これにつきましては休止届提出後5年たったものを2分の1として算出するいふ規定になっておりますことから、自然減と申しませうか、係数が下がるいふことでございます。

説明は以上でございます。

#### ○ 森 康哲委員長

説明はお聞き及びのとおりでございます。ご質疑がございましたら、ご発言願います。

○ 山本里香委員

資料というか説明をいただきましてありがとうございました。

もちろん、各種統計によってということで、この統計は三重県毎月勤労統計調査とかそういうので、決まった計算式でやってもらっているというのは、そうなんですよね。毎年そうやって、多分算出をしているので、それが当たっていくかどうかはわかりませんが、この本当に、0.6%というのは、微微微、微増ですね。個人市民税について微微微の増だと思いますが、そういう算定式に、仕組み上というのかな、システム上、計算をしていくとそうなっているということ。それから給与所得などを計算する勤労者の常用労働者数ということで、0.6%ほどこれが減少しているということが、今の時点でのその試算のもとになっているわけですが、それによってのことと、そして所得は、けれども少し上がるのではないかと、これも微増という形の中で算定をしていただいたということです。この算定式に文句をつけるわけではありませんし、実態が統計で出ているのだから、それについて何ということではないのですが、現実どうかということ、とても心配をしながら質問をさせていただいたので、説明をしていただき、ありがとうございました。統計にあらわれてこない現状が、多分、今、日本全国、四日市でもあるというふうに、ひしひしと感じておりますので、これは予算ですので、予算の中で基準がないとできませんからということで確認をしました。ありがとうございました。

○ 森 康哲委員長

ほかにごございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

はい。

なしということで、他に質疑もないようですので、これより討論に移りたいと思います。討論がありましたら、ご発言願います。

(なし)

○ 森 康哲委員長

なしの確認をいたしました。

続いて、全体会へ送るとすべき事項の確認を行います。

本件のうち、全体会へ送るべきとする事項は特段ございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

なしと認めます。

それでは、採決を行います。

特段反対討論もございませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

それでは、議案第91号平成27年度四日市市一般会計予算について、第1条歳入歳出予算の歳入全般及び第3条地方債並びに第4条一時借入金について、可決すべきものと決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第91号 平成27年度四日市市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳入全般、第3条地方債、第4条一時借入金について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 森 康哲委員長

それでは、次の議案に移りたいと思いますので、理事者の方は入れかえを行ってください。お疲れさまでした。

それでは、議案の審査に入りますけれども、その前に、議会事務局長よりご挨拶をお願い

いします。

○ 服部議会事務局長

お世話になります。

議会費でございますけれども、議会費につきましては、人件費がほとんど約9割を占めておりまして、それで来期、議員定数につきましても2名減ということになりましたものですから、あわせて当初予算の補正につきましても上げさせていただいておりますもので、よろしく審査のほう、お願いしたいと思います。

○ 森 康哲委員長

それでは、議案の審査に入ります。

議案第91号 平成27年度四日市市一般会計予算

第1条 歳入歳出予算

歳出第1款 議会費

第2条 債務負担行為（関係部分）

○ 森 康哲委員長

議案第91号平成27年度四日市市一般会計予算について、歳出第1款議会費及び第2条債務負担行為（関係部分）について、追加資料の説明を求めます。

○ 清水議会事務局議事課長

それでは、追加資料のご説明をいたします。「予算常任委員会総務分科会資料 議会事務局」と書かれておる資料でございます。こちらの1ページから6ページにつきましては、昨日、財政経営部の審査内においてご説明しておりますので、7ページからでございます。

こちら、7ページから10ページのものが、日置委員からご依頼がありました交際費の支出のわかるものとして、平成26年度、これはこの2月12日現在までのもので掲載しております。加えて平成25年度の交際費支出も掲載しておりますので、ご確認いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

次に、11ページでございます。11ページは山本委員からご依頼がありました旅費の内訳

ということで、費用弁償予算1264万3000円の内訳と、特別旅費予算326万1000円の内訳で  
ございます。こちらにつきましては、費用弁償につきまして常任委員会行政視察、特別委  
員会行政視察、議会運営委員会行政視察、海外行政視察の内訳としまして、このような状  
況になっております。また特別旅費でございますが、こちらは全国市議会議長会海外行政  
視察の欧州分が160万9820円でございます。米国・カナダ分が165万700円の予算でござい  
ます。

追加資料の説明は以上でございます。

### ○ 森 康哲委員長

説明はお聞き及びのとおりでございます。ご質疑がございましたら、ご発言願います。

### ○ 日置記平委員

資料をありがとう。交際費のこの文字について、これはたくさん丁寧に拾い出してくれ  
たのですが、僕が視点を当てたのは、実は交際費支出一覧はいいのですけれども、中身は、  
交際費というこの文字です。これを、交際費が約200万円はずっと金額が変わっていない  
んです。金額云々ではないのだけれども、交際費という項目で、例えば拾い出すとこんな  
のが出てくるのかは知らないけど、拾い出したら、これが出てくれば、ネットで市民の皆  
さんが、関心の皆様方が、これは何に使われているのならいいけれども、交際費がただ  
190万円ということだけで出てきた場合には、議長交際費なので、議長が一般に言う接待  
交際費に使っているのかなと。何、使ってんのやと。随分前ではないけど、県の交際費は  
いろいろな形で使われていました。食事代や飲み代に使われていました。そんな時代があ  
ったことを知っている人から見ると、この交際費という文字については、議長が接待交際  
費に使っているのではないかと思われがちな文字なので、これは変えたほうがいいのでは  
ないかな。この下に、激励金と書いてあるから、何か交際費という名目ではなくて、この  
名目を変えたほうがいいな。市民の皆様方は、市民もいろいろあります。企業の方々、特  
に四日市の商工会議所やらロータリークラブやらライオンズクラブや四日市青年会議所や  
とかの人たちから見ると、交際費って何が要るのかなと、この時代にとということですが、  
実際には交際費は本当はあっていい項目なのだけれども、でも目的が違うので、目的が違  
うなら、この交際費支出というのを「交際」というこの2文字を変えたほうがいいなと、  
こう思ったので、この思いはずっと私は持ち続けているのです。

私が議長の時にも、交際費で議長が例えば、北勢5市の議長会で使う食事代とか会場代とか、あるじゃないですか。三重県市議会議長会、全国市議会議長会、全国競輪主催地議会議長会でも四日市市が担当する競輪議長会とかがあります。そんなところにも使えるものと思っていれば、全く違うんだよね。それなら、この2文字を変えたほうがいいと、そういうふうに一般市民、あるいは企業人からも思われがちな文字なので、この際、変えませんかという提案をしたいのです。

#### ○ 清水議会事務局議事課長

交際費についてのご質問をいただきました。確かに日置委員がおっしゃるとおり、言葉のイメージというものがあり、市民に誤解を招く表現かもしれませんが、法的な部分で少しお話をさせていただきますと、この交際費という表現は、地方自治法の施行規則、こちらのほうで規定されておりました、歳出区分として規定がされておるものでございます。法的になかなか変更することが難しいと思われませんが、ご趣旨につきましては非常に理解を示すものでございます。

#### ○ 日置記平委員

それで提案やけどね、うちだけ変えるわけにいかんのではないですか。だから三重県市議会議長会に上げて、三重県市議会議長会から東海市議会議長会に上げて、東海から幾つかの要望書の中に、全国市議会議長会にこれを上げるという手段はあるのですよ。それで、これは総務省かな、やっぱり時代にマッチした文字に改定、変えましょうということの提案をしておいてもらおうと、これは変わりますね。ということをお願いしておきます。

#### ○ 毛利彰男委員

全く私もそう思います。そやから意見ではなくて、この委員会として出されたらどうですか。

#### ○ 日置記平委員

そうですね。ありがとう。

#### ○ 森 康哲委員長

今、毛利委員から提案がありました、委員会発議ということになりますか。

○ 毛利彰男委員

発議なのか、どっちでも形は委員長のほうで采配していただいたら。個人の委員の意見ではなくて、委員会として、それが蹴られるかどうかは知らないよ。そういう形での提案を。

○ 森 康哲委員長

まず、委員会の合意をとりたいと思いますので、先ほど日置委員のほうから提案がありました、総務省への働きかけということで、この交際費という項目の名称を変更する要望を、この当総務常任委員会として上げることに同意をいただけますでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

では、全会一致ということで要望をしていくと。要望の仕方に関しましては、正副委員長でまた議会事務局と詰めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

他にございませんか。

○ 山本里香委員

資料をありがとうございました。

前年度実績というか前々年度実績に基づいて、細節01それから03の費用弁償が、このように試算されて計上されているのだと思います。まず、特別旅費のほうについて、もちろん視察ということは、国内外を問わず見識を広めるという意味で、それを全否定するわけでは私はないのですけれども、この金額については今までの流れの中でどうかなというふうに思っているのですが、この間、文書が出ていて、平成27年度はまだ現存をしながら、平成28年度以降のことについては、この実施も検討という言葉でしたか、そのような文書があったのですが、正式にその内容をお知らせいただきたいと思います。

## ○ 服部議会事務局長

全国市議会議長会主催の海外行政視察につきましては、こここのところ、参加者数も減少してきているという状況もございまして、全国市議会議長会のほうでこの視察のあり方についての検討を今しております、それによりますと、まだ途中、まだ結論は出ていない状態ですけれども、途中経過によりますと、平成28年度あたりに廃止も含めて検討しているという流れになっております。

## ○ 山本里香委員

全国市議会議長会ですから、全国を網羅している中で、毎年募集をされて、募られてということが、ここ近年、特に参加、応募が少ないという状況で、20名という催行人員が満たないということもあったように、記憶をしていますけれども、それはやっぱり全国の中で、やめてきているという実態が、全国ではあるということですか。ただ単純に希望がないということだけなのか、各市でやめてきているということが確認されたり、申し合わされたりという状況があるとか、そういうことはあるのでしょうか。

## ○ 服部議会事務局長

全国市議会議長会のほうでは、あくまで参加希望をとっておりますもので、その希望者が少なくなってきたおるとい状況で、各個々の市議会のほうで、例えば議会によっては政務活動費を使って視察されているところもございましてというふうなところもあって、要するに、海外行政視察自身が減ってきておるといのは、その辺は正確にはちょっと把握していない状況でございます。

## ○ 山本里香委員

質疑のほうはもうあれですけれども、参加が少なくなっている、つまり政務活動費での参加もあるようなことも聞いているという、議会費としての、特別旅費としての予算化がされていれば、出て見える部分もあるのだろうけれども、されていても出て見えないのかもしれないし、それからされていないというところも最近は多くなっているように思いますが、東日本大震災のときに自粛という形で、2年間もとのところで中止という形になって、また復活をされて、今検討中、あり方について検討中、諸事情を含めて検討中なのだと思うのです。議員定数の削減など、今まで私たちが審査というか、いろいろ詰めて

くる中で、身を切るということなんかもよく言われていました。そういうことから見たときに、もちろん、これが全く見識を広めるという意味で、見聞を広めるという意味で効果がゼロだとは私は言いませんけれども、今、国内でのもちろん常任委員会や、自分たちの政務活動費による勉強をしに行くということは十分に保障されている状況の中で、全国の動きや、そして市民感情などを考えたときに、これは80万円全部使い切りではないけれども、この金額を一方で予算として計上することは、私はそぐわないというふうに思っています。これまでもその発言はしたことがありますけれども、今考え直すべきかなと思って、この部分に反対をしたいと思います。

○ 森 康哲委員長

他にございませんか。

それでは、質疑を終結したいと思います。

これより、討論に移りたいと思います。討論がありましたら、ご発言願います。

○ 山本里香委員

さきにも述べましたけれども、この議会費の中の細節03特別旅費、全国市議会議長会の海外視察に関する費用について、反対をしたいと思います。

○ 森 康哲委員長

反対の表明がございました。他に討論ございませんか。

○ 樋口龍馬委員

私は賛成の立場で討論させていただきます。

使うか使わないかということは個々の議員の判断になってくると思うのですが、議会として、全国で行われていること、これがなくなっていけば、もちろん考え直すべきときだと思いますけれども、あの海外視察の報告会で得た資料などをどのように市政に反映していくかということに、しっかりと取り組んでいくことが必要であると思いますし、別段、楽しくてしょうがなく海外旅行に行っているというわけでもない、私は感じておりますので、まだ私は行ったことはないですが、今後行くかどうかはわかりませんが、議会として道を閉ざしてしまうことについては、よくないと思いますので、原案のとおり行かれ

ではどうかと、皆様に賛同いただきたく思い、討論させていただきました。

以上です。

○ 毛利彰男委員

賛成討論します。多いに行くべきだと思います。それで、従来、行く先がかなり限定されていましたが、この際、ヨーロッパ、アメリカだけではなく、世界中いろいろな、危険地帯は別としていろいろなところへ行って見聞を広めて、日本のあるいは四日市の産業の優位性とか問題点とか、多いに見て研究すべきだと。増額すべきだと、人数もいっつも行きたい人を絞っているわけです。行きたい人には大いに、全員でも行けるぐらいの予算獲得をしていく方向で、積極的に海外研修をやるべきだと。そして海外研修に行くためには、語学の研修も必要になるわけです。そういう部分も含めて、もっと議員の資質を上げることもそれに絡ませてやっていくべきだと、そんなふうに思います。

○ 森 康哲委員長

他に討論ございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

では、山本委員から反対の立場で討論があり、賛成の立場で樋口委員と毛利委員から討論があったということで、確認をさせていただきます。

続いて、全体会へ送るべきとする事項の確認を行います。

本件のうち全体会へ送るべきとする事項は特段ございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

なしと確認をいたしました。

それでは、異議がありましたので、まず反対討論のあった部分につきまして、挙手により分科会としての採決を行います。

それでは、議案第91号平成27年度四日市市一般会計予算について、歳出第1款議会費及び第2条債務負担行為（関係部分）のうち、反対討論のあった第1款議会費のうち特別旅費について、可決すべきものと決することに賛成の委員の挙手を願います。

（賛成者挙手）

○ 森 康哲委員長

賛成多数でございます。よって本件は可決すべきものと決しました。

〔以上の経過により、議案第91号 平成27年度四日市市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第1款議会費及び第2条債務負担行為（関係部分）のうち、第1款議会費のうち特別旅費について、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決する。〕

○ 森 康哲委員長

続いて、先ほど採決を行った部分を除く部分について、採決を行います。こちらについては、特段反対討論がない部分ですので、簡易採決とさせていただきます。

それでは、議案第91号、平成27年度四日市市一般会計予算について、歳出第1款議会費及び第2条債務負担行為（関係部分）のうち、先ほど採決した部分を除く部分について、可決すべきものと決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

○ 森 康哲委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

〔以上の経過により、議案第91号 平成27年度四日市市一般会計予算、第1条歳入歳出予算、歳出第1款議会費及び第2条債務負担行為（関係部分）のうち、特別旅費を除く部分について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。〕

○ 森 康哲委員長

ちょうどお昼になりましたが、お諮りいたします。

補正予算の部分があるのですけれども、その後、その他事項と続きますが、お昼に入っ  
てよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

じゃ、ここで一旦休憩に入ります。再開は1時よりとします。

12 : 02 休憩

---

13 : 02 再開

○ 森 康哲委員長

それでは、休憩前に引き続き、予算常任委員会総務分科会を再開いたします。

議案第140号 平成27年度四日市市一般会計補正予算（第1号）

第1条 歳入歳出予算の補正

歳出第1款 議会費

○ 森 康哲委員長

議案第140号平成27年度四日市市一般会計補正予算（第1号）について、歳出第1款議  
会費について、資料の説明を求めます。

○ 清水議会事務局議事課長

よろしくお願いたします。

平成27年度一般会計補正予算、平成27年度当初予算の補正でございます。

こちらにつきましては、去る2月2日の緊急議会において、議員定数が34名となったこ  
とに伴う減額補正でございます。

補正予算書は、平成27年2月補正予算書（3）の10ページから11ページに記載しております。説明は予算常任委員会資料、平成27年度一般会計補正予算（第1号）議会事務局の資料でご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

1ページでございます。2名減によりまして、補正が必要な部分を1ページにまとめております。議員報酬につきましては1295万8000円の減額、期末手当が529万5000円の減額でございます。続いて、行政視察関係費としまして29万円の減額でございます。政務活動費につきましては、154万円の減額となり、減額の合計は2008万3000円の減額補正でございます。

続いて、2ページ以降でございますが、既に当初予算でご説明しております資料を修正したものでございます。2ページでございますが、変更された部分を、枠を太くして見やすくいたしております。減額補正により補正後の平成27年度議会費につきましては、平成27年度〔補正後〕（A）と書かれた枠、こちらの部分が、補正後の額となります。その中で影響を受けるところが、太枠で囲ったところが、影響を受ける部分でございます。3ページ以降につきましても補正後の額に置きかえたもので資料をつくり直しております。ご確認いただきたいと思います。

説明は簡単でございますが、以上でございます。

○ 森 康哲委員長

ご説明はお聞き及びのとおりでございます。ご質疑がございましたらご発言願います。

（なし）

○ 森 康哲委員長

なしと認めます。

特段ご質疑もないようですので、これより討論に移ります。討論がありましたらご発言願います。

（なし）

○ 森 康哲委員長

討論もなしということで、認めます。

続いて、全体会へ送るべきかという確認を行います。本件につきまして全体会へ送るべきとする意見は特段ございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

なしと認めます。

それでは、採決を行います。特段反対討論もございませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

それでは、議案第140号、平成27年度四日市市一般会計補正予算（第1号）について、歳出第1款議会費について、可決すべきものと決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

[以上の経過により、議案第140号 平成27年度四日市市一般会計補正予算（第1号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第1款議会費について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 森 康哲委員長

それでは、その他事項に移りますので、理事者は入れかえを行ってください。

[常任委員会]

○ 森 康哲委員長

それでは、その他事項としまして、所管事務調査に移りたいと思います。

会議への参画をとりやめた人権施策推進懇話会及び同和行政推進審議会についての所管

事務調査に入ります。

本件につきまして、理事者は資料の説明をお願いします。

## ○ 渡辺人権・同和政策課長

今、委員長からご案内がありましたとおり、私ども、同和行政推進審議会並びに人権施策推進懇話会の会議が開催いたしましたので、その内容についてご報告をさせていただくものでございます。資料につきましては、「総務常任委員会所管事務調査資料」ということで、黒いクリップでまとめてつけさせていただいてあるものでございます。このクリップをお取りいただきますと、表紙の裏側に三つの会議体の名前を明記しております。そのほかに、三つの綴じ方で資料を配付させていただいております。この一つ一つがその会議の資料ということでございまして、順に説明をさせていただきます。

まず、第1回の人権施策推進懇話会からの報告でございます。

8月26日に開催されました第1回の会議におきましては、よっかいち人権施策推進プラン、このプランに基づきまして、平成25年度に全庁的に取り組みを行いました。部落問題、男女共同参画、子供、高齢者、障害者、多文化共生、こういった各種人権施策についてご報告をいたしまして、委員の方からご意見をいただいたものでございます。この報告した内容につきましては、全体で169の事業数を数えておりますが、当常任委員会といたしましては48、全体で169ということでございます。委員の方からの主な意見といたしましては、子供たちが人権問題を自らの問題として自覚をし、課題解決に向けた力をつけさせることが大事であると。また、いつでも気軽に相談できる体制の充実、あるいは、意思の疎通を図るために重要なコミュニケーションツールでございます手話に親しみ、学ぶ機会の充実などの意見が出されたところでございます。

次に、第2回の人権施策推進懇話会でございます。こちらは12月15日に開催されました。第1回目に出されました意見の取りまとめをいたしまして、その案をたたき台にして、委員会において議論いただいたものでございます。委員からは、高齢者と子供、その保護者による世代間交流の推進、あるいは家庭や職場における生活しやすい、働きやすいような、男女共同による環境整備の促進、コミュニケーションを図る上で重要となる手話、あるいは外国人の方の日本語習得に向けた取り組み、こういったご意見が出されました。

次に、最後でございますが、同和行政推進審議会でございます。

こちらは1月19日に開催されました。同和対策の特別措置法執行後におけます同和問題

の解決に向けた重点的な取り組みといたしまして、教育、就労を取り上げるとともに、隣保館のあり方の答申がまとめられ10年以上が経過していることから、これまでの取り組みを検証するため、ワーキング検討会にて論点を整理した上で、審議会に報告し、ご議論いただいたものでございます。委員の方からは、課題に対する施策の進捗状況や成果、問題点を明らかにするためには、もっと地域の実態を把握する必要があるのではないか。それを踏まえた上で、今後、効果的な施策について審議会で議論を深めることが重要であるなどのご意見をいただいたところでございます。

報告は簡単ですが、以上でございます。

#### ○ 森 康哲委員長

ご説明はお聞き及びのとおりでございます。

傍聴者が1名入られております。

では、ご質疑がございましたら、ご発言願います。

ございませんか。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

ボリュームが多いので内容を見るのが大変なんですけれども、単純なところから。

今、人権施策推進懇話会のほうですが、委員の皆さん7名、大変ご努力いただいて、議論も交わしていただいたのだろうと推していますが、1回目の出席者数が6名、2回目も6名、1名欠席なんだけど、この1名、欠席の方のご意見の反映というのはどのようになっているのか。それと、この欠席の方は同一なんでしょうか。その辺がよくわからないんですけども、この欠席者の意見をどのように反映させているのかというようなことをお聞きしたいんですけど。

#### ○ 渡辺人権・同和政策課長

ただいま頂戴しました委員の方の状況でございます。この第1回の人権施策推進懇話会の資料を、3ページ、4ページほどめくっていただきますと、委員名簿がございます。今年度2回開催いたしまして、1回目の欠席の1名、2回目の欠席の1名は、これは委員の方は違う方でございます。1回目の方につきましては、別の仕事の関係で宿泊の業務といえますか、それが入ったためにちょっと欠席したいというご連絡をいただいて、欠席とな

ったというものでございます。2回目のほうの欠席の方につきましては、また別の方なんです、この方につきましては体調を崩されまして、当日ご連絡をいただいて欠席となったということでございます。

その欠席の方のご意見をどのように反映するかということでございますが、1回目の欠席の方につきましては、1回目と2回目の間におきましてお話はさせていただきました。ただ、この方につきましては、2回目の中でご意見をいただくという場がございましたので、その意見は反映されたかなと考えております。ただ、2回目のこの欠席の方につきましては、会議録を送付ということはさせていただいておりますが、その方からご意見をまた別にいただくということは、現在のところしてございません。

以上でございます。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

おおむね対応はきちんとしていただいていると理解しましたので、せっかくですので、この2回目の資料を送ったということであれば、何かご意見がなければいいけれども、ありませんかというあたりの丁寧さも要るのかなという思いがしますので、引き続き、ご努力くださいませ。

以上です。

#### ○ 森 康哲委員長

他にございませんか。

#### ○ 山本里香委員

いろいろとご努力をいただいて、大切な事案を委員さん交えて話をして計画などをつくっていただいていると思うのですが、一言だけ、人権教育という形で、細かく分けていけば多岐にわたることがあると思うのですが、これから先に進んでいくとすれば、これは主権者教育を子供たちにきっちりしていく、人権というのは、その個々、個人の主権者としての自立というか、目覚めというか、そしてそれを個々の主権を認め合うということが、最終の究極のところだと、個々には個別の分野があるのだけれどもと私は思っているのですが、今後のこういった委員会などの中で、啓蒙は学校だけではなくて社会教育も含めてしていくわけですが、今まで一番おくれていたのがこの主権者教育じゃないかと思

っているんです。学校の中でも、社会教育の中でも。そういう観点で、これは今日は報告ですので、この報告は受けとめながら、今後の人権施策についてとか、こういったところでいろいろと審議をしていただいて、物事を進めていくに当たって、私はそのところが一番我が国の弱いところではないかと思っているんです。個々の主権者が、自分のことが確立していけるようであれば、全ての問題は解決をしていくと思っているのですが、いかがでしょうか。一言。

#### ○ 渡辺人権・同和政策課長

今ご指摘いただいた内容につきましては、資料がたくさんあって恐縮なのですが、第1回の人権施策推進懇話会、これはたくさん資料が整っておりますが、そこを先ほどの名簿の後をめくっていただきますと、よっかいち人権施策推進プランというものがございます。右の肩に「資料1」と表示したものでございますが、ここの5ページを見ていただきたいと思います。今まさに山本委員からご指摘をいただいた、子供だけではなく大人の部分も含めてかと思いますが、この丸で囲ってあります基本理念のところですが、自尊感情を大切にす、そして自己決定を尊重すると。まさにこういったところが、今ご指摘のところかと私も考えてございます。これが全てかなえば、かなり人権意識の高揚に結びつくのかなと、そこに向けて私もますます努力していかなくてはいけないというふうに考えております。

以上です。

#### ○ 山本里香委員

このプランをつくっていただいて、「はじめに」から、この部分は本当に、全てこれが主権者としての人間のあり方の根本的なことが網羅しているというか、本当に目指されていると思うのです。そのことを、よく人権、人権という言葉の中で、やっぱりそれって何かと思うと、人間主権の確立であるというふうに思うのですが、努めていただきたいと思います。

#### ○ 森 康哲委員長

他にございませんか。

(なし)

○ 森 康哲委員長

ないようですので、これにて所管事務調査を終了いたします。

次の事項に移りますので、理事者は退出してください。

それでは、その他事項の2項目めの調査報告書の確認に入りたいと思います。

先般、1月27日に所管事務調査として実施をしました消防団のあり方について、報告書の案を作成して配付しております。本件につきましては、議会の最終日に報告する必要がありますので、委員の皆様方におかれましては、内容をご確認いただき、修正がある場合は3月10日火曜日までに議会事務局までご連絡をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本件につきましては、以上となりますので、次の事項に移りたいと思います。

2月定例会議会報告会について、議会報告会の役割分担について確認をいたします。お手元に、「総務常任委員会議会報告会 進行表」という資料を配付させていただいておりますが、この議会報告会の役割分担を決めていきたいと考えております。

それでは、資料のうち空欄となっている部分の役割分担について確認してまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

まず、司会進行を決めたいと思うのですが、立候補者。

○ 日置記平委員

もう今までどおりでええやん。

○ 森 康哲委員長

では、司会進行は、副委員長、石川さんをお願いすると。

報告におきましては、最後の報告になりますので、それぞれ今回だけは役割分担を決めて発言をお願いしたいのですが。

まず、政策推進部。

○ 笹岡秀太郎委員

委員長は、全部それぞれと言っていたけれども、いつもどおりでよろしいやんか。

○ 森 康哲委員長

いや、今回だけは、皆さんに、やっぱり手伝っていただきたいと。

○ 笹岡秀太郎委員

前回に倣えばよろしいやんか。

○ 石川善己副委員長

今回で最後になられる方もおありになりますし。

○ 笹岡秀太郎委員

いや、わからんで。我々もそうかもわからへん。そんなの関係なしに委員長にやってもろうたらよろしいやん。

○ 森 康哲委員長

今回は皆さんでお願いしたいと思います。

○ 日置記平委員

花舞台、もう任せるわ。

○ 森 康哲委員長

では、日置委員でいいですか。政策推進部、お願いできますか。

○ 日置記平委員

僕が無理つつたら、みんなが困る。

○ 石川善己副委員長

消防本部だけは委員長に残しておいてやってください。

○ 森 康哲委員長

じゃ、日置先生、お願いします。

消防本部、いかがでしょうか。

○ 石川善己副委員長

これはもう委員長がやらないかんでしょう。

○ 森 康哲委員長

私を抜いて。

○ 日置記平委員

これは6人しかおらん。

○ 森 康哲委員長

そうです。

○ 日置記平委員

1人余るやん。

○ 森 康哲委員長

ちょうど6名見えますので、それぞれやっていただきたい。

○ 笹岡秀太郎委員

1人足らんの違うの。ええの。余るん違う。

○ 森 康哲委員長

シティ・ミーティングの司会をじゃ、毛利さんにということで。

山口さん、どうですか。

○ 石川善己副委員長

やりやすいところ、やりたいところ、早い者でとってもらったほうがいいかもわからん

ですよ。

○ 森 康哲委員長

毛利さんは、私のほうから司会進行をお願いします。シティ・ミーティングのね。

○ 山本里香委員

休んだら、何とかしなきゃいけない。誰かが。

○ 森 康哲委員長

はい。だからここにみえる方の役割を今回お願いさせていただきたいと思いますので。

山口委員、どうですか。得意分野。

○ 石川善己副委員長

どうですかというより、どこがいいですか。どれにしますか。

○ 森 康哲委員長

早い物勝ちですよ。

○ 石川善己副委員長

最後はやっぱり皆さんに少しずつお話しただかんと。

○ 森 康哲委員長

早い者勝ちですよ。

○ 石川善己副委員長

じゃ、もうこっちで適当に割り振っていいですか。

○ 森 康哲委員長

山本さんは。

○ 山本里香委員

居所不明かもしれない。3月25日。居所不明かも。

○ 森 康哲委員長

それではちょっと困りますので。

○ 石川善己副委員長

では、こちらで割り振ってよろしいでしょうか。本当に。

多分、皆さん奥ゆかしいので。

○ 森 康哲委員長

思いを持って報告していただけるのが一番いいと思いますので。

特に、樋口委員、山口委員。

○ 石川善己副委員長

割り振らせていただくという格好でよろしいでしょうか。

(発言する者あり)

○ 森 康哲委員長

では、1から順番に、日置委員、2番が笹岡委員、3番が山口委員、4番が山本委員、5番が藤井委員、6番が樋口委員と。よろしくをお願いします。

シティ・ミーティングの司会進行におきましては、毛利委員にお願いをさせていただきますので、よろしくをお願いします。

それでは、役割分担が確認できましたので、当日はよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、審査順序に記載の事項については、全部終了いたしましたので、これにて総務常任委員会を終了いたします。

6月定例月議会の議会報告会の会場を選定する必要がありますので、確認をさせていただきます。総務常任委員会の開催場所は南ブロックとなりまして、候補地としましては、事項書に記載の3施設となります。この中から会場を選定していただきたいと考えており

ますが、何かご意見のある方はご発言をお願いします。

○ 日置記平委員

会場やろ。

○ 森 康哲委員長

会場設定です。

○ 日置記平委員

会場は決まっておると違うの。

○ 森 康哲委員長

いや、6月定例会議会なので、開催日時は7月6日になっておりまして、南部ブロックということで。

(発言する者あり)

○ 森 康哲委員長

正副委員長で対応させてもらってよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 森 康哲委員長

はい。それでは、①の塩浜地区市民センターということで、6月定例会議会の議会報告会の会場にしたいと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

そして、最後になりますが、休会中の総務常任委員会につきまして、お伝えさせていただきます。

2月19日に開催されました議会運営委員会におきまして、休会中に実施する委員会の日程が確認されております。事項書に記載のとおり平成27年3月31日の午後1時半から、4常任委員会が同時に開催され、次回の議会報告会で受けた意見の整理を実施することとな

っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これにて審査順序に記載されました事項は全部終了いたしましたので、委員会を終了いたします。どうもお疲れさまでございました。

13：30 閉議